



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美★新280	神はわがやぐら	—	—	同
主の祈り		—	—	同
讃美★イ351	いかな恵みぞ	—	—	同
交読詩篇	26:1~12	—	—	同
祈禱		—	—	同
報告		—	—	同
聖書	使徒25:1~26:32	—	—	同
説教	「証しのチャンス」	—	—	渡邊貞雄師
献金★新434	語り告げばや	—	—	司会者
頌栄	新63 父、御子、御霊の	—	—	(起立) 一同
祈禱		—	—	

★印。=全節朗読

みことばを言へ伝えなさい。時が良くても悪くてもしつかりやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

Ⅱエモテ四・二



来週礼拝 使徒27:1~44 「嵐の中での信仰」

〒15-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2021年9月12日 VOL. 44-37 No. 2341

URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 三重県に出されている「緊急事態宣言」は、9月30日(木)まで延長となりました。当教会も30日(木)までは、オンライン(YouTube)による礼拝となります。
- ▼ 毎週の祈禱会もオンライン(ZOOM)です。ぜひ下記にアクセスしておわり下さい。今週は、15日(水)PM 7:00-8:00までの約1時間となります。(アクセスはいつも同じです)

<https://us02web.zoom.us/j/82936455911?pwd=ZVh6STF2Z3hTQVNXZDhIZzZvdWFwdz09> または以下まで
 ID: 829 3645 5911 PC: 90

- ▼ 「COG 70周年記念式典」は9月20日(月)の午後に持たれます。チラシ有り!



にれ はみ

2021年9月5日
聖日礼拝
使徒の働き20:1~38
「涙の別れ」
説教 渡邊貞雄 師



アレクサンドリア・トロアス・ルーイン

パウロは第三回伝道旅行の帰路、ミレトスでエペソの長老たちと再会した。

I、みことばの宣教（過去の奉仕） 18~21

ここはパウロの教会指導者への唯一で貴重な説教。彼はアジアへの当初からみことばの伝道に専念した(18)。主に仕える心で(19)、人々に教え(20)、信仰の証しをした(21)。

①場所＝「公衆の面前でも」「家々でも」(20)。②時間＝「昼も」「夜も」(31)。③対象＝「ユダヤ人にも」「ギリシア人にも」(21)。④態度＝「謙遜の限り」「涙とともに」(19)。⑤状況＝「数々の試練の中」「命がけ」の奉仕だった(19)。

II、神とともに走る道（現在の計画） 22~27

パウロの願いは自分の行程を走りきること(24)。たとえエルサレムに命の危険で苦難が待っていてもでした。

エルサレムへマケドニアの諸教会から支援金を預かっていた。7名の同行者と(4)、早く届けたい願望もあった。「聖霊に縛られて」「聖霊が私に…証して言われる」(22、23)、パウロ

は内住の聖霊に促されて従った。

III、みことばに生きる（将来の責務） 28~31

「神の教会」とは「主の教会」であり、神に所属するもの。なぜなら主イエスの贖いによって建てられのだから。聖霊は教会に長老(監督者)を立てられた。それは二つの危険から守るためだった。①近い将来の外からの凶暴な狼を防ぐこと(29)。②教会内側からの偽教師から守ることでした(30)。

そのためには、「恵のみことば」に委ねることが最重要でした(32)。みことばは力があり、成長させ、教会をきよくし、御国を継承させるものだからです。

パウロは主の「受けるよりは与える方が幸いである」(35)との信仰の基本姿勢を、証しとともに語った(マタイ5:3~10参照)。それは主に従い通すパウロの後ろ姿でもあり、長老たちは涙で彼を見送った。

私たちの証しは明瞭でしょうか。流す涙は人のためのものでしょうか。触れるみことばは、真に恵みのみことばとなっているのでしょうか！